

「自分発→友達経由→自分着」の学び

修学旅行 充実した3日間でした

中学部 5月22日(水)~24日(金)

- ◆ 中学部1・2・3年生は、リトアニアに出かけました。平和学習をテーマに掲げた修学旅行で、KGB博物館、杉原千畝記念公園、第九要塞、杉原千畝記念館等を訪れました。いずれも、平和、そして、リトアニアという国について考えるには欠かせないところです。子どもたちは、教室での学習では感じることのできない臨場感を感じながら、「戦争・平和」について思いを巡らせました。
- ◆ 今回の修学旅行の柱の一つに、ヴィルニウス大学の学生の皆さんとの交流がありました。いずれも大学で日本語を学ぶ学生の皆さんで、グループに分かれてヴィルニウスの旧市街を案内してくれました。子どもたちも予め考えてきた質問をしながら、石畳の道を歩きながら交流を深めました。この後、お礼の手紙を書き、大学宛に送ることにしています。



説明をしっかりと聞き、メモをとりました。(KGB博物館)



精緻な漆喰彫刻で知られる聖ペテロ・パウロ教会も訪ねました。



杉原千畝の偉業に思いを馳せ、全員で認めた寄せ書きを手渡しました。(杉原千畝記念館)



ヴィルニウス大学の学生の皆さんと街を探索しました。



昼食風景。友との語らいが一番の思い出になります。

小学部 5月29日(水)~31日(金)

- ◆小学部5・6年生は、サブサン号を利用してサンクトペテルブルクに出かけました。イサク大聖堂、エルミタージュ美術館、ペテロパブロフスク要塞、ピョートル大帝夏の宮殿、エカテリーナ宮殿等を訪ねました。短時間でしたが、サンクトペテルブルクの歴史や文化にふれることができた修学旅行でした。
- ◆施設見学だけでなく、体験活動も計画していました。子どもたちは、事前に学習したことを生かして、マトリョーシカの絵付け体験にチャレンジしました。
- ◆5・6年生の友情を深めることもモス日の修学旅行の大きな目標の一つです。生活班の仲間と協力して取り組む活動を通して、互いのよさに気付くことができました。修学旅行を通して深めた絆は小学部をリードする力につながるはずです。



超特急サブサン号でサンクトペテルブルグへ。とても快適な旅でした。



夏の日差しの下、ピョートル大帝夏の宮殿を訪ねました。



熱心に説明に聞き入る子どもたち。ガイドのマリーナさんからもお褒めの言葉をいただきました。(エカテリーナ宮殿)



皆で食べる食事は修学旅行の楽しみの一つです。この笑顔をご覧ください。

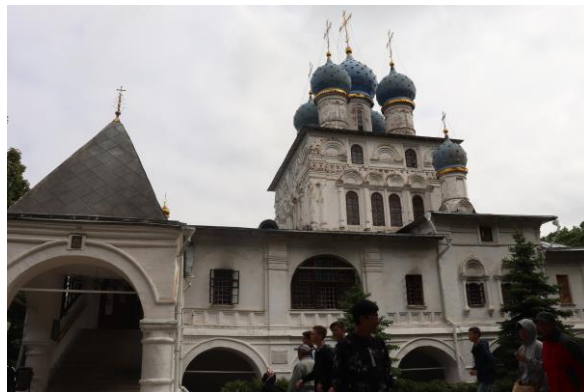


マトリョーシカ絵付け体験。事前学習で制作のイメージを高めて臨みました。絵筆が進みます。

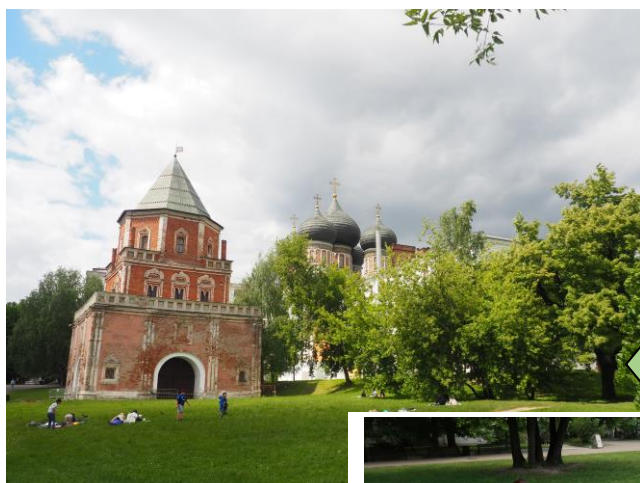
モスクワの自然と文化にふれる

小学部・中学部 写生会

- ◆5月24日（金）に小学部が、27日（月）に中学部が写生会に行ってきました。今年度は、小学部はカローメンスコエ公園、中学部はイズマイロヴォ公園で思い思いの絵を描きました。
- ◆同じ景色や建物でも、学年によって描くポイントは違います。しかし、どの絵もなかなかの出来映えです。どんな作品に仕上がるのか、今から楽しみです。作品展をお楽しみに。



小学部



中学部



明るい挨拶は、モス日っ子の思い

- ◆「あはようございます」、校舎に明るい挨拶が行き交います。子どもたちの発案で始まった「挨拶運動」の輪が広がっています。
- ◆あるく・いつも・さあ・つづけよう。そんな思いで挨拶を交わす子どもたち。その笑顔から、明るい学校にしようというモス日っ子の心意気が伝わってきます。いつまでも大切にしていきたい心です。

